KASAMA

市長コラム

文 / 笠間市長　山口　伸樹



日本人女性の思い

7月の新聞に、台湾の屏東県のバシー海峡に面した海岸付近で現地の方々の協力を得ながら戦没者の遺骨収集に取り組む一人の日本人女性についての小さい記事が掲載されていました。

私はその屏東県を訪問する機会があり、屏東県知事との会談の中で、一人の日本人として遺骨収集に対するお礼を申し上げました。

その内容がご本人にも伝わり、お電話をいただき、市役所でお会いすることになりました。女性のご両親が笠間市の出身であることを知り、思いがけないご縁に、驚きの一言でありました。

その女性はここ7年間、台湾において遺骨収集のための聞き取り調査などに取り組んでこられました。その活動内容についてお話を伺い、強い信念と行動力をもって長年活動を続けてこられた姿に、深く頭が下がる思いでした。

今後も取り組みを続け、一つでも多くの遺骨を日本に帰したいとの思いをお話しされていました。長い年月が経過した今も、故郷に帰ることのできない戦没者を思い一人の日本人女性が取り組む活動について、感謝の思いです。

戦後は、まだ終わらない。

今月の Pick up

アジア大会で金メダル！ 陸上 佐藤選手が市長を訪問

9月に愛知県名古屋市で開催された「第20回アジア競技大会」陸上競技男子4×400mリレーで金メダルを獲得した笠間市出身の佐藤風雅選手（ミズノ所属）が10月15日に市長を表敬訪問しました。

懇談では、大会会場での様子や最年長としてチームをまとめるために心がけたことについてお話しされ、今後の目標については「ロサンゼルスオリンピックの出場が最重要目標です。まだまだ成長が必要で、ここからがスタートです」と話しました。

市長からは、「市民の皆さんも注目している中での金メダル獲得、おめでとうございます。笠間市出身の佐藤選手を子どもたちは関心をもって注目し、誇りに思っていることと思います。これからも頑張ってください」と祝福の言葉がおくられました。

次なる目標は、ロサンゼルスオリンピック。夢に向かって挑戦し続ける佐藤選手のさらなる活躍を応援していきましょう！





問 生涯学習課（内線 392）